令和２年８月２１日

まちづくり委員会資料

令和元年東日本台風による河川関係の浸水に関する対策の進捗状況について

建 設 緑 政 局

１．各地域の浸水状況と対策概要

河港水門（川崎区港町周辺）

浸水状況

昭和3年に完成した河港水門は、周辺の堤防天端高より約1.3m低い状況となっていた。これについては、水門背後地への船舶の利用が続く中、ゲートの嵩上げ等を行うことで船舶利用への支障が出る恐れがあったこと、水門ゲートの高さが多摩川の計画高水位を満たすこと等から、現在までゲート改築を行っていなかった。

今回、多摩川上流域で観測した既往最高の雨量は、計画高水位を超過したまま多摩川下流域を流下し、河港水門付近においても計画高水位を越える状況の中、河港水門扉体上部からの越水、周辺工場の多摩川取水口からの出水が確認され、約７haの浸水被害が発生した。

また、警察、消防からの連絡を受けるまで、浸水被害を把握することができず、浸水する前に住民への注意喚起や情報提供が遅れる等の課題が生じた。

対策概要

浸水経路として確認された河港水門扉体ゲートの高さを確保する対策等を行うとともに、周辺工場に対し多摩川取水口の止水対策を働きかける。

また、浸水状況の把握については、住民への注意喚起や情報提供が遅れてしまったことから、リアルタイムに水位等の情報を把握できるよう、水位計やカメラを設置するとともに、住民に自主防災意識を促すソフト面での対策も併せて行う。

平瀬川（多摩川合流部周辺）

浸水状況

多摩川上流域で観測した既往最高の雨量は、計画高水位を超過したまま多摩川下流域を流下した。一方、平瀬川流域の雨量は流下能力を下回る降雨であったが、多摩川において田園調布(上)水位観測所等で計画高水位を越える状況の中、平瀬川においても水位が上昇し、管理用通路水抜き穴からの浸水、東久地橋桁下からの浸水、平瀬川の堤防からの越水が確認され、約６haの浸水被害が発生した。

また、水位計の電源が喪失し、水位の情報が欠測したり、夜間のカメラ映像が不鮮明で現地状況の把握に支障が出る等、情報収集・伝達の面で課題が生じた。

対策概要

浸水経路として確認された管理用通路水抜き穴へのフラップゲートの設置や平瀬川のパラペット護岸の改良等とともに、東久地橋桁下に大型土のうの設置を行う。

また、水位の欠測等に対して夜間対応カメラや補助電源を有する機器への更新等を実施し、住民に自主防災意識を促すソフト面での対策も併せて行う。

三沢川（ＪＲ南武線三沢川橋梁周辺）

浸水状況

多摩川上流域で観測した既往最高の雨量は、計画高水位を超過したまま多摩川下流域を流下するとともに、大丸用水の上流域に位置する多摩雨量観測所(稲城市大丸）においても既往最高の雨量を観測した。一方、三沢川流域の雨量は流下能力を下回る降雨であったが、多摩川において計画高水位を越える状況の中、三沢川においても水位が上昇し、三沢川に接続する水路の水が流入しづらくなったため水路からの越水が発生し、併せて三沢川護岸に設置されているアクリル板の目地からの漏水や、管理用通路の水抜き穴からの浸水も発生した。当該地域では約12haの浸水被害が発生した。

また、早期に浸水状況の把握ができず住民への注意喚起ができなかったことや、三沢川水門の閉鎖や付近の三沢川の水位情報が住民に伝えられていない等、情報収集・伝達での課題が生じた。

対策概要

浸水経路として確認された水路（水門）の補修や、フラップゲートの設置及び三沢川のアクリル板の目地の補修を行う。

また、浸水状況の把握については、住民への注意喚起や情報提供ができなかったことから、リアルタイムに水位等の情報を把握できるよう、水位計やカメラを設置するとともに、住民に自主防災意識を促すソフト面での対策も併せて行う。

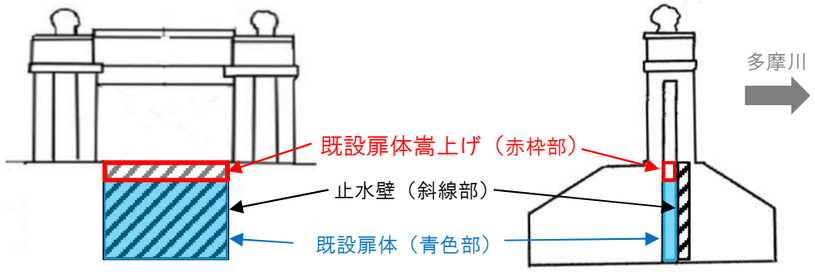
２．浸水対策の進捗状況について（河港水門・川崎区港町周辺）

(1)短期対策

ア 扉体(ゲート)の高さ確保

・対策実施者：川崎市
・進捗状況　：（対策済）　①既設扉体嵩上げ対策　令和２年８月
　　（施工中）　②止水壁設置　　令和２年12月まで

【対策内容】
①暫定的に水門扉体上部に鋼板を設置し、周囲の堤防高さまで嵩上げする。
②更なる対策として、既存の水門前面に、周囲の堤防と同じ高さの止水壁を新たに設置する。



河港水門嵩上げイメージ

既設扉体嵩上げ

止水壁(水門前面)

イ 京急交差部の閉塞

・対策実施者：川崎市
・進捗状況　：（施工中）　大型土のう配備　令和２年８月末まで（一部配備済）
　　※「ア. 扉体（ゲート）の高さ確保」②の対策完了までの対策

【対策内容】
　浸水時に多摩川からの市街地への流入防止として、早急に対応できるよう、
　大型土のう200袋を近傍に配備する。
※浸水が予想される場合、大型土のうを京急高架交差部に積んで、開口部を閉塞する。

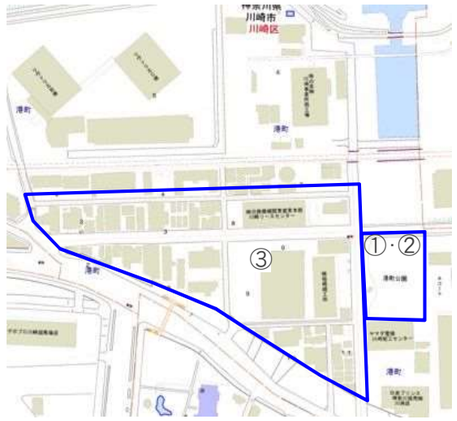
京急交差部の閉塞イメージ

配備済の大型土のう

ウ 被害最小化の取組

・対策実施者：川崎市
・進捗状況　：（対策済）①土のうステーション設置　令和２年７月
　　②移動式ポンプ配備　令和２年７月
　　③集水桝の増設等　令和２年７月

【対策内容】
①土のうステーションを港町公園に設置し、土のう用の砂置き場を併設した。
②浸水発生時に迅速に排水作業ができるよう、移動式ポンプを港町公園に配備した。
③円滑な排水を図るため、集水桝の増設や既存集水桝の蓋を流入しやすいタイプに交換した。



対策箇所図

①土のうステーション、②移動式ポンプ

土のうステーション(写真左)・砂置き場(中央)・移動式ポンプ倉庫(右)

③集水桝増設状況

③蓋の交換状況

エ 水位計、カメラの設置

・対策実施者：川崎市
・進捗状況　：（施工中）水位計及びカメラ設置　令和２年８月末まで

【対策内容】
①水位計とカメラを設置（水門付近を監視）する。
②水位計の情報、カメラの画像は一般に公開する。（令和２年９月予定）

水位計・カメラ設置位置

カメラ画像のイメージ

オ 周辺工場の多摩川取水口の出水対策

・対策実施者：味の素株式会社
・進捗状況　：（対策済）　取水口等の閉塞　令和２年３月、６月

【対策内容】
　取水施設取水口及び配管を二重に閉塞した。

２．浸水対策の進捗状況について（河港水門・川崎区港町周辺）

(2) 中長期対策

ア．中長期対策の考え方

治水機能の向上の観点から、高規格堤防や、水門機能の見直し、河港水門周辺の土地有効活用等、今後の水門及び周辺整備のあり方について、庁内関係部署をはじめ、多摩川の管理者である国や河港水門の利用者及び地元関係者などと検討を進める。

イ．河港水門の今後の方向性

河港水門は、大正時代に構想された大規模な運河計画の歴史的遺産として、平成10年に国の登録有形文化財に登録された。近年までは、砂利運搬船の陸揚げ施設として利用されてきた。

しかし、令和２年度から船舶の利用がないことに加え、河港水門と周辺堤防の高さが異なっていることを踏まえ、河港水門の今後について以下の検討を進める。

（ア）水門としての必要性の検討

河港水門については、台風等の大雨時には、多摩川からの水の流入を防ぐため水門を閉めているが、通常時は多摩川への排水のために水門を開けている。

今後も水門として開閉機能を存続するかについて、検討を行う。

（イ）河港水門周辺の土地活用についての検討

船舶の利用がなくなることから、今まで船溜まりとして利用されていた土地の有効活用について検討を行う。

（ウ）文化財としての取扱いの検討

河港水門は、国の登録有形文化財に登録されている。

川崎市にとって、貴重な文化財であることから、今後の取扱いについて検討を行う。

都市計画運河計画のルート図

河港水門航空写真

ウ. 堤防の整備に向けて

河港水門周辺は高規格堤防整備区間である。このうち港町地区までは整備済みとなっているが、河港水門を含む下流部については未整備となっていることから、高規格堤防の整備に向けて多摩川の管理者である国や庁内関係部署と検討を進める。

高規格堤防の整備状況

エ. 現在の進捗状況

多摩川の高規格堤防整備を見据えた、河港水門の将来的なあり方について検討するため、基礎調査などの準備を行っている。

2．浸水対策の進捗状況について（河港水門・川崎区港町周辺）

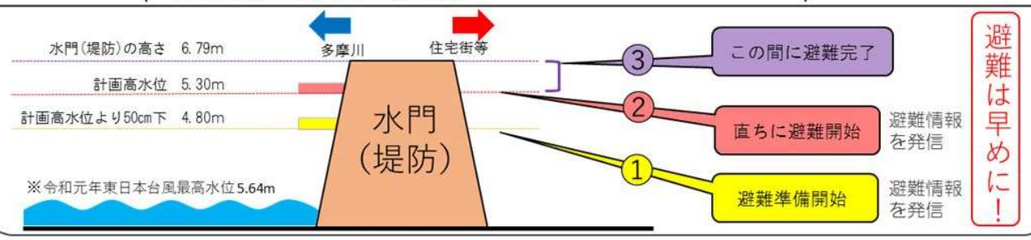
(3) ソフト対策

河港水門周辺地域の緊急避難タイムライン（洪水）【案】

■避難の目安（令和元年東日本台風の水位情報を基に作成しています）

※避難勧告等が出た場合は、下の水位に達していなくても避難行動を開始してください。
※「判断の目安の水位」の設定方法については、裏面の解説「3.発信する情報」をご確認ください。

判断の目安の水位（河港水門）	住民がとるべき行動	情報入手方法
5.30m～6.79m	③ この水位の間に避難完了 ・避難中の住民は、確実な避難を直ちに完了 ・避難行動に余裕がない場合は、屋内の安全な場所等に退避するなど、生命を守る最低限の行動完了	・メールニュースかわさき受信 ※情報の入手先については「台風や大雨に備えて」を御覧ください。 ・ＨＰの水位計及びカメラで状況確認 ※情報の入手先については下図を御覧ください。 ・広報車による巡回 ・防災行政無線 ※多摩川の状況に基づく
5.30m	② 直ちに避難開始 ・緊急避難場所等の安全な場所への立ち退き避難開始 ・屋内の安全な場所への避難開始	
4.80m	① 避難準備開始・高齢者等の避難開始 ・高齢者等の避難行動に時間がかかる方は、避難行動を開始 ・高齢者等の方が避難の際は、近隣の方々と声をかけあい、協力しながら避難 ・それ以外の住民は、避難準備を開始	



■河港水門周辺における緊急避難場所

台風や大雨に備えて

台風や大雨などの風水害は、天気予報などで事前に情報を得て、
早めの行動ができる災害です。
大切な命を守るために、できるところから始めてみませんか。

1　災害リスクを確認する

ハザードマップは、洪水による浸水などの災害が起きる可能性がある場所を示した地図です。
自宅で安全が確保できるときは、自宅に留まることも避難の方法です。
まずは、ハザードマップで自宅のリスクを確認しておきましょう。

2　避難先や、避難行動を事前に考えておく

台風予報などの情報を知ってから、災害が来るまでの時間をうまく活用することが大切です。
いつ、どこに、どうやって避難するかを事前に考えて、いざという時に備えましょう。
詳細については、「備える。かわさき」をご覧ください。

・屋内待機（自宅待機）　・立ち退き避難　・垂直避難

※ハザードマップや「備える。かわさき」・「号外！備える。かわさき」は、市危機管理室や各区危機管理担当の窓口で配布しています。

3　情報の入手先の確認

情報の入手先について、日頃から確認をすることが大切です。

・川崎市ホームページ／川崎市防災気象情報
　河川の水位情報のほか、気象レーダーやピンポイント天気予報、降水短時間予測などの情報をホームページで公開しています。

川崎市防災気象情報

・メールニュースかわさき
　登録したメールアドレスに川崎市の防災、気象、災害の情報を配信します。
　配信を希望する方は、下記アドレスまで空メールを送信してください。
（パソコン・スマートフォンから　mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp ）

メールニュースかわさき

・防災テレフォンサービス
　防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くことができます。
◇県内の一般加入電話、公衆電話及び一部ＩＰ電話　０１２０－９１０－１７４（通話料なし）
◇携帯電話、ＰＨＳ、県外の一般加入電話・公衆電話　０４４－２４５－８８７０（通話料あり）

お問い合わせ先

避難等に関すること・・・・・・・・・・・川崎区役所危機管理担当　TEL ０４４－２０１－３３２７
道路等に関すること・・・・・・・・・・・川崎区役所道路公園センター　TEL ０４４－２４４－３２７０
河港水門、水位計、カメラに関すること・・川崎市建設緑政局河川課　TEL ０４４－２００－２９０２

2．浸水対策の進捗状況について（河港水門・川崎区港町周辺）

(3) ソフト対策

河港水門周辺地域の緊急避難タイムライン（洪水）解説 【案】

1．多摩川河港水門周辺への避難情報の発信

多摩川の河港水門周辺地域の皆様に対し、河港水門に設置する水位計に着目した避難に関する情報発信を行います。避難に関する情報を受けたら、適切な避難行動を取れるようにしましょう。

※既に多摩川（田園調布上水位観測所）の水位で避難勧告等が発令されている場合は、河港水門周辺への避難に関する情報を待たず、適切な避難行動を取るようにしましょう。

2．多摩川河港水門の水位計・カメラ

多摩川の河港水門付近に新たに水位計と河川監視カメラを設置しました。
台風などの大雨で多摩川の水位が上昇すると、浸水被害が発生する可能性があるため、水位計や河川監視カメラで、多摩川の水位の状況に注意しましょう。
なお、ホームページについては現在作成中で、９月に公開予定です。

ホ ー ム ペ ー ジ （ 公 開 イ メ ー ジ ）

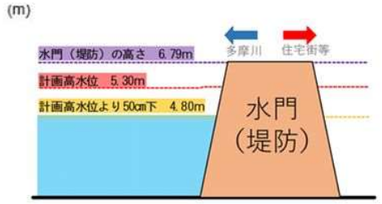
現在水位

時刻	水位(m)
18:00	4.50

水位一覧 10分 1時間

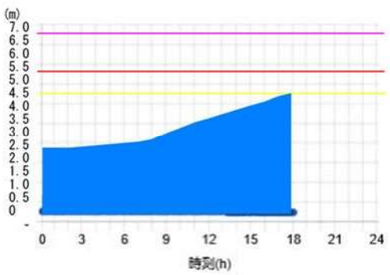
時刻	水位(m)
18:00	4.50
17:50	4.46
17:40	4.42
17:30	4.38
17:20	4.35
17:10	4.34
17:00	4.32
16:50	4.30
16:40	4.26
16:30	4.23
16:20	4.19
16:10	4.14

水位状況図



カメラ画像

水位グラフ



拡大路地図

水位（カメラ）情報は、
コチラのホームページから

水位計・カメラのＨＰアドレスとＱＲコードをここに記載予定

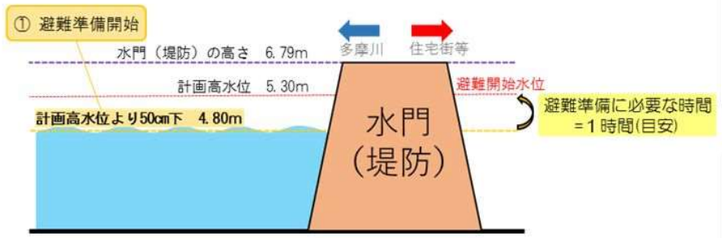
3．発信する情報

河港水門付近の多摩川の水位に応じて、様々な手段で避難に関する情報を発信します。

※必要な時間（目安）は、令和元年東日本台風時における１時間あたりの最大水位上昇量による想定であり、発生する事象によって異なります。

①避難準備開始/高齢者等の避難開始 水位

河港水門の水位計の観測水位が4.80mに達したら、避難準備を開始していただくための情報を発信します。
令和元年東日本台風時の多摩川（右岸5.8ｋｍ地点、六郷橋下流）の最大水位上昇量（0.47m/ｈ）を参考とし、避難準備などに必要な時間（１時間）を見込んで設定しています。
※多摩川では、避難準備に必要な時間（リードタイム）は１時間とされています。



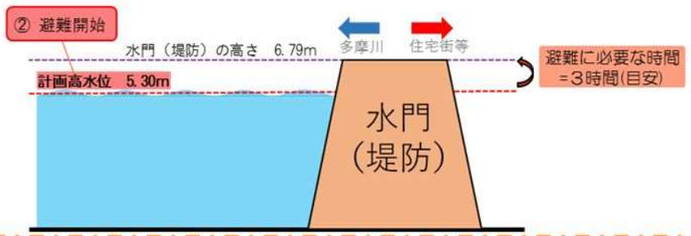
情報の入手方法
- メールニュースかわさき
- 広報車の巡回による現場での広報
- ホームページの水位情報
- 防災行政無線

※多摩川の状況に基づく発信

住民が取るべき行動
- 避難に時間がかかる人は避難開始
- その他の人は、避難準備（家財・車などの避難）

②避難開始 水位

河港水門の水位計の観測水位が5.30mに達したら、避難を開始していただくための情報を発信します。
令和元年東日本台風時の多摩川（右岸5.8ｋｍ地点、六郷橋下流）の最大水位上昇量（0.47m/ｈ）を参考とし、避難に必要な時間（３時間）を見込んで設定しています。
※多摩川では、避難完了までに必要な時間（リードタイム）は３時間とされています。



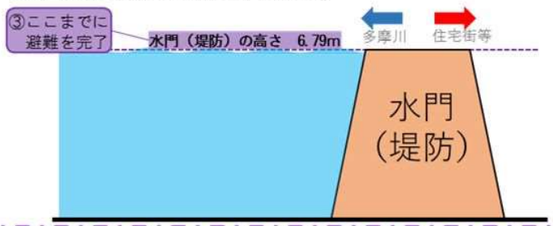
情報の入手方法
- メールニュースかわさき
- 広報車の巡回による現場での広報
- ホームページの水位情報
- 防災行政無線

※多摩川の状況に基づく発信

住民が取るべき行動
- 避難開始

③避難完了 水位

河港水門の水位計の観測水位が6.79mに達すると、多摩川からの越水が発生する可能性が非常に高くなります。
この水位までには避難を完了し、万が一まだ避難されていない方は建物の上階等に退避し、生命を守る行動を取る必要があります。



情報の入手方法
- ホームページの水位情報

住民が取るべき行動
- 避難完了

３．浸水対策の進捗状況について（平瀬川・多摩川合流部周辺）

(1)短期・中期対策

ア フラップゲートの設置

・対策実施者：川崎市
・進捗状況　：（対策済）令和２年３月
【対策内容】
市が管理する33箇所の水抜き穴にフラップゲートを設置した。
※民有地から接続されている22箇所の排水管については、所有者及び構造等の調査を完了しており、各々の状況に応じた対策の実施を所有者に対し依頼した。

フラップゲート

イ 大型土のう等の設置

・対策実施者：国
・進捗状況　：（対策済）令和２年８月
【対策内容】
暫定的な対策として、東久地橋桁下に、遮水シートを併用した大型土のうを設置した。

大型土のう

ウ パラペット護岸の改良

・対策実施者：川崎市
・進捗状況　：（対策済）　①仮設板設置　　令和２年８月
　　（施工中）　②アクリル板設置　令和２年度末まで
【対策内容】
①台風シーズンまでの暫定対策として、仮設板の設置を行った。
②既存パラペットを補強し、アクリル板を設置する。

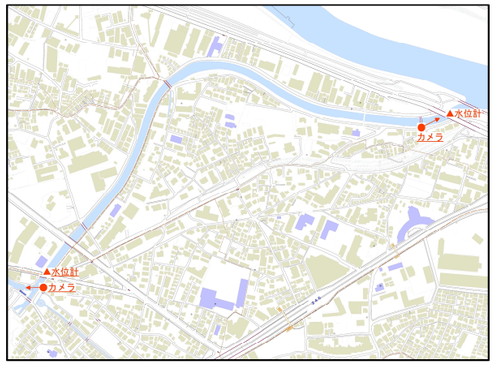
仮設板（設置状況）

アクリル板（設置事例）

エ 水位計、カメラの新設・更新

・対策実施者：川崎市（水位計、カメラ）
・進捗状況　：（対策済）　①既存水位計の更新　　令和元年度
　　（施工中）　②水位計及びカメラ設置　令和２年８月末まで

【対策内容】
①既存の水位計については、補助電源を有する機器に更新を行った。
②平瀬川-多摩川合流点、二ヶ領本川-平瀬川合流点への水位計とカメラを設置する。
　新設したカメラの画像は、一般に公開する。（令和２年９月予定）
※神奈川県が既存のカメラを夜間対応カメラ（視認性向上）に更新する。（令和２年度中）



水位計・カメラ設置位置

カメラ画像のイメージ
（平瀬川-多摩川合流点）

オ 被害最小化の取組

・対策実施者：川崎市
・進捗状況　：（対策済）　①移動式ポンプ配備　　令和元年度
　　②移動式ポンプ増設　　令和元年度
　　③土のうステーション設置　令和２年６月
【対策内容】
①移動式ポンプ２機を配備した。
②地盤の低い地域の内水処理能力強化のため、移動式ポンプを１機増設した。
③土のうステーションをかすみ堤に設置した。

土のうステーション（かすみ提）

移動式ポンプ機

3．浸水対策の進捗状況について（平瀬川・多摩川合流部周辺）

(2) 中長期対策

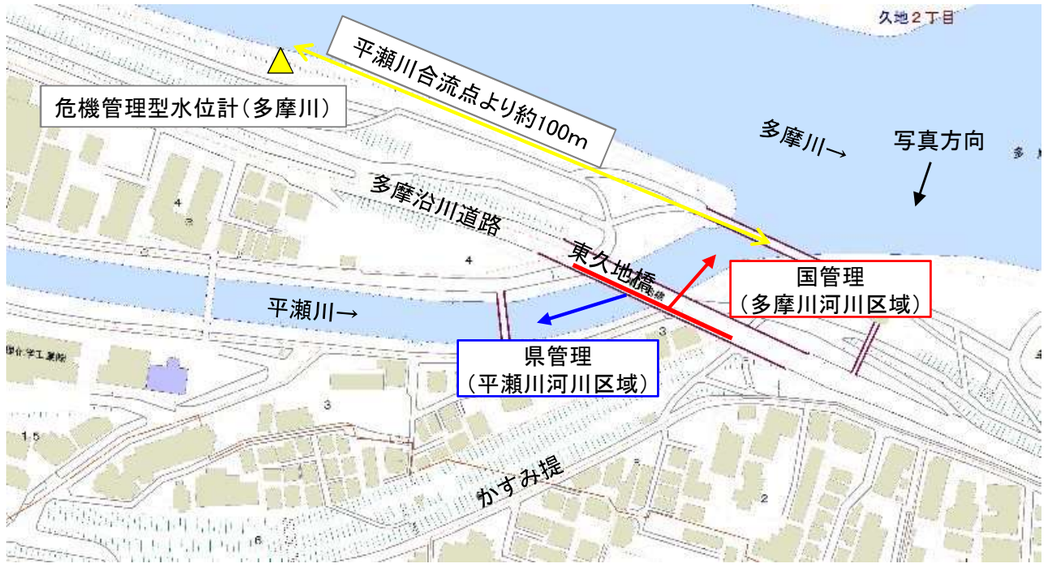
ア．平瀬川（多摩川合流部周辺）の現状

平瀬川は、県が管理する一級河川であり、時間雨量50ミリの降雨に対応した河道の整備が完了しており、川崎市が改修工事や維持を担っている。

多摩川合流部周辺については、多摩川の計画堤防高（TP16.36m）に対して、平瀬川は昭和49年から57年の整備により、時間雨量90ミリ相当※の降雨に対応できる河道整備（堤防実測値：TP13.23m）が完成している。

※上流域で現在施工中である五反田川放水路事業等の完成後

平瀬川(多摩川合流部周辺)写真



平瀬川(多摩川合流部周辺)平面図

イ．中長期対策の方向性

令和元年東日本台風では、多摩川において計画高水位を超える状況の中、平瀬川（多摩川との合流部）においても水位が上昇し、平瀬川の堤防等から越水したことを踏まえ、**多摩川との合流部における平瀬川の堤防嵩上げ等の機能強化**などについて、国及び県、川崎市が連携して対策の検討・調整を行っていく。

ウ．現在の進捗状況

・東久地橋桁下の対策に関しては、大型土のうの設置が完了している。

・平瀬川の堤防嵩上げ等の機能強化に関しては、神奈川県と連携し、国土交通省京浜河川事務所及び関東地方整備局河川部と合流点処理について協議を行っている。

３．浸水対策の進捗状況について（平瀬川・多摩川合流部周辺）

(3) ソフト対策

平瀬川最下流部における避難行動のタイムライン（洪水）【案】

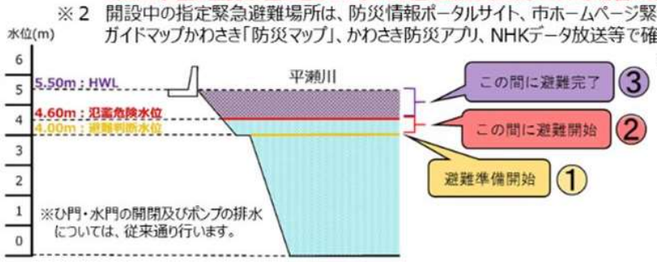
●避難の目安

※「判断の目安の水位」の設定方法については、裏面の解説「３．発信する情報」をご確認ください。

【判断の目安の水位】（水位：平瀬橋観測所）	【発信する情報】(※１)	【警戒レベル】	【住民がとるべき行動】
水位 ４．６０m【氾濫危険水位】～５．５０m【計画高水位:HWL】	避難指示（緊急）	レベル４	③ この間に避難完了 ・避難中の住民は、確実な避難を直ちに完了 ・避難行動に余裕がない場合は、屋内の安全な場所等に退避するなど、生命を守る最低限の行動を完了
水位 ４．００m【避難判断水位】～４．６０m【氾濫危険水位】	避難勧告		② この間に避難開始 ・指定緊急避難場所等(※２)の安全な場所への立ち退き避難開始 ・屋内の安全な場所への避難開始
水位 ４．００m【避難判断水位】	避難準備 高齢者等の避難開始	レベル３	① 避難準備の開始・高齢者等の避難開始 ・高齢者等の避難行動に時間がかかる方は、避難行動を開始 ・高齢者等の方が避難の際は、近隣の方々と声をかけあい協力しながら避難 ・それ以外の住民は、避難準備を開始

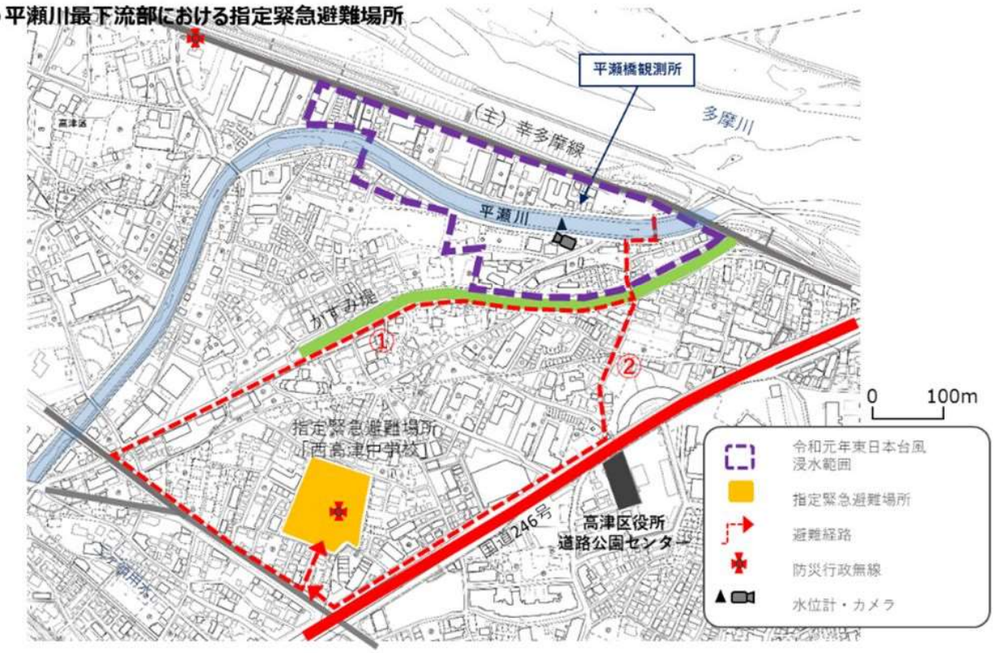
※１ 避難勧告等の発令は、防災行政無線や広報車両による広報等により伝達されます。
河川の水位が上記水位に達していなくても避難勧告等が発令される場合がありますので、早めの避難行動を心掛けてください。

※２ 開設中の指定緊急避難場所は、防災情報ポータルサイト、市ホームページ緊急情報、メールニュースかわさき「防災気象情報」、ガイドマップかわさき「防災マップ」、かわさき防災アプリ、NHKデータ放送等で確認することができます。



●水位データの取得先
神奈川県雨量水位情報
(神奈川県ホームページ)
【水位計】 【河川カメラ】

●平瀬川最下流部における指定緊急避難場所



台風や大雨に備えて

台風や大雨などの風水害は、天気予報などで事前に情報を得て、
早めの行動ができる災害です。
大切な命を守るために、できるところから始めてみませんか。

１ 災害リスクを確認する

ハザードマップは、洪水による浸水や崖崩れなどの災害が起きる可能性がある場所を示した地図です。
自宅で安全が確保できるときは、自宅に留まることも避難の方法です。
まずは、ハザードマップで自宅のリスクを確認しておきましょう。

２ 避難先や、避難行動を事前に考えておく

台風予報などの情報を知ってから、災害が来るまでの時間をうまく活用することが大切です。
いつ、どこに、どうやって避難するかを事前に考えて、いざという時に備えましょう。
詳細については、「備える。かわさき」をご覧ください。

・屋内待機（自宅待機）　・立ち退き避難　・垂直避難

※ハザードマップや「備える。かわさき」・「号外！備える。かわさき」は、市危機管理室や各区危機管理担当の窓口で配布しています。

３ 情報の入手先の確認

情報の入手先について、日頃から確認をすることが大切です。

・川崎市ホームページ／川崎市防災気象情報
　河川の水位情報のほか、気象レーダーやピンポイント天気予報、降水短時間予測などの情報をホームページで公開しています。

川崎市防災気象情報

・メールニュースかわさき
　登録したメールアドレスに川崎市の防災、気象、災害の情報を配信します。
　配信を希望する方は、下記アドレスまで空メールを送信してください。
（パソコン・スマートフォンから　mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp ）

メールニュースかわさき

・防災テレフォンサービス
　防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くことができます。
◇県内の一般加入電話、公衆電話及び一部ＩＰ電話　０１２０－９１０－１７４（通話料なし）
◇携帯電話、ＰＨＳ、県外の一般加入電話・公衆電話　０４４－２４５－８８７０（通話料あり）

災害時の連絡先

指定緊急避難場所に関すること・・・	高津区役所危機管理担当	TEL ０４４－８６１－３１４６
道路、水路、河川に関すること・・・	高津区役所道路公園センター	TEL ０４４－８３３－１２２１
救助が必要なときは・・・・・・・・	高津消防署	TEL ０４４－８１１－０１１９

３．浸水対策の進捗状況について（平瀬川・多摩川合流部周辺）

(3) ソフト対策

平瀬川最下流部における避難行動のタイムライン（洪水）解説【案】

１．平瀬川最下流部への避難情報の発信

平瀬川の最下流部にお住まいの皆様に、平瀬川の水位に着目した避難に関する情報発信を行います。避難に関する情報を受けたら、適切な避難行動を取れるようにしましょう。

※既に多摩川の水位で避難勧告等が発令されている場合は、平瀬川最下流部への避難に関する情報を待たず、適切な避難行動を取るようにしましょう。

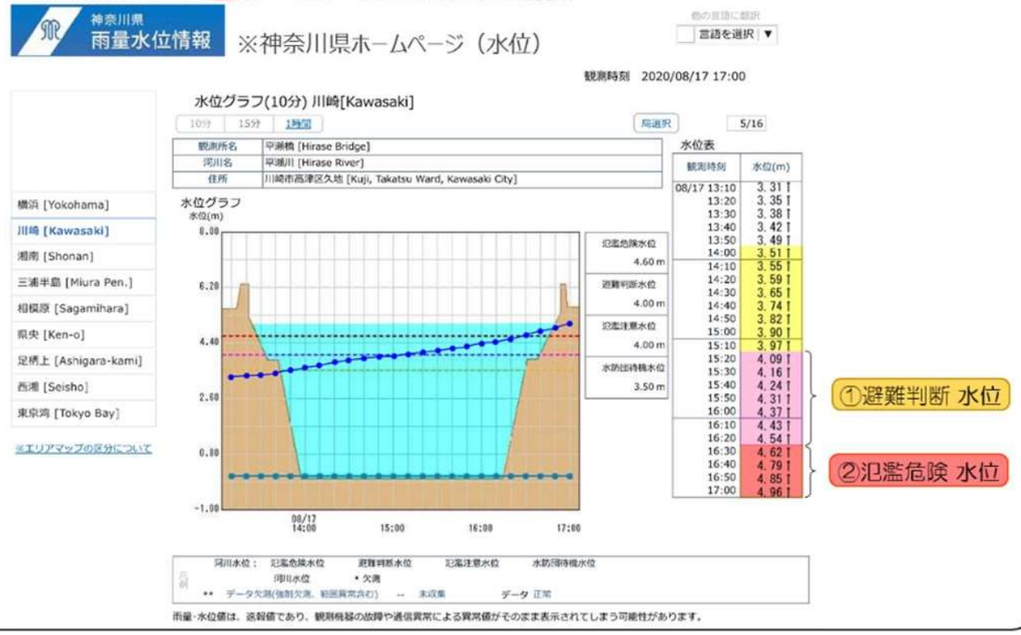
２．平瀬川最下流部の水位計・カメラ

平瀬川最下流部では、平瀬橋に水位計及び河川監視カメラが設置されています。
台風等の大雨で平瀬川の水位が上昇すると、浸水被害が発生する可能性があるため、水位計や河川監視カメラで、平瀬川の水位の状況に注意しましょう。

●水位データの取得先
神奈川県雨量水位情報
（神奈川県ホームページ）

【水位計】 【河川カメラ】

神奈川県 雨量水位情報 ※神奈川県ホームページ（水位）



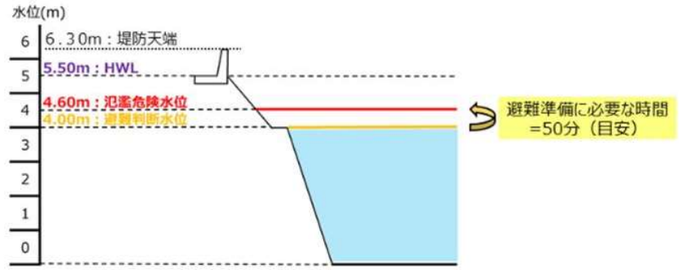
３．発信する情報

平瀬川の水位に応じて、様々な手段で避難に関する情報を発信します。

※必要な時間（目安）は、令和元年東日本台風時における１時間あたりの最大水位上昇量による想定であり、発生する事象によって異なります。

①避難判断 水位

平瀬川の水位が避難判断水位（4.00m）に達したら、避難準備を開始していたくための情報を発信します。
令和元年東日本台風時の平瀬川の最大水位上昇量（0.68m/ｈ）で計算すると、約50分で避難の準備を行う必要があります。

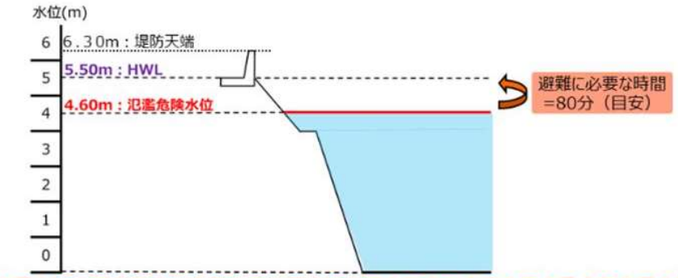


情報の入手方法
- HPの水位計及びカメラで状況確認
- メールニュースかわさき受信
- 広報車等による広報
- 防災行政無線

住民が取るべき行動
- 避難に時間がかかる人は避難開始
- その他の人は、避難準備（家財・車などの避難）

②氾濫危険 水位

平瀬川の水位が4.00m～4.60mの間に、避難を開始していただくための情報を発信します。
令和元年東日本台風時の平瀬川の最大水位上昇量（0.68m/ｈ）で計算すると、約80分で避難を行う必要があります。

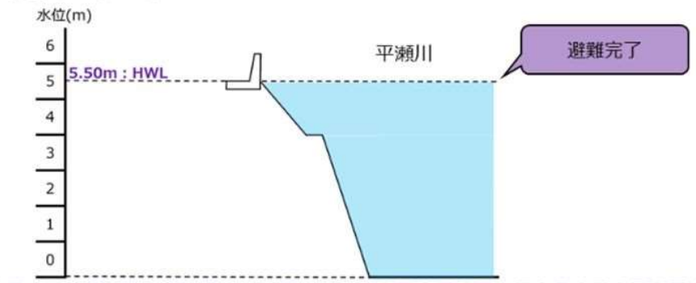


情報の入手方法
- HPの水位計及びカメラで状況確認
- メールニュースかわさき受信
- 広報車等による広報
- 防災行政無線

住民が取るべき行動
- 避難開始

③計画高水位（H.W.L）

平瀬川の水位が5.50mに達すると、浸水被害が発生する可能性が非常に高くなります。
この水位までには避難を完了し、万が一まだ避難されていない方は建物の上階等に退避し、生命を守る行動を取る必要があります。



情報の入手方法
- HPの水位計及びカメラで状況確認
- メールニュースかわさき受信
- 広報車等による広報
- 防災行政無線

住民が取るべき行動
- 避難完了

４．浸水対策の進捗状況について（三沢川・JR南武線三沢川橋梁周辺）

(1)短期・中期対策

ア 水路（水門）の補修や管理等

・対策実施者：川崎市、神奈川県
　※大丸水門の維持管理について、神奈川県と覚書を締結
・進捗状況　：
　（対策済）　①仮設止水板の配備　令和２年７月
　　②ポンプ施設設置　令和２年７月
　　③浚渫　令和２年７月
　　④流下能力向上　令和２年８月
　（施工中）　水門改修　令和２年度末まで
【対策内容】
①三沢川からの逆流防止のため、大丸水門に仮設止水板を配備した。
②仮設止水板を設置した際に大丸用水の水をポンプにより三沢川に排出する施設を設置し、訓練を行った。
③大丸用水の流下能力を最大限発揮できるよう、浚渫清掃作業を完了した。
④速やかに排水するため、大丸用水の流下能力を向上させた。
⑤機能回復のため、大丸水門を改修する。（神奈川県）
※稲田公園取水ポンプについて、大雨時には確実に取水を停止する。
※パトロール経路への追加とパトロール体制の強化

仮設止水板の設置状況

大丸用水接続部のポンプ倉庫

イ フラップゲートの設置

・対策実施者：神奈川県、川崎市
・進捗状況　：（対策済）　令和元年度
【対策内容】
①フラップゲートを４箇所設置した。（神奈川県）
②止水機能向上のため、フラップゲートのゴムパッキンを交換した。（川崎市）

フラップゲート設置

ゴムパッキン交換

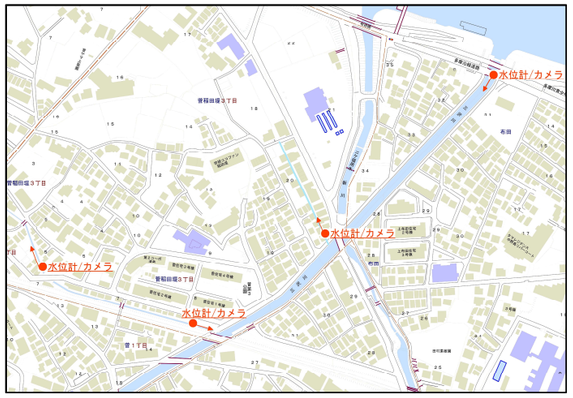
ウ　三沢川の護岸補修

・対策実施者：神奈川県
・進捗状況　：
　（対策済）　①応急措置　令和元年度
　（施工中）　②目地補修　令和２年度末まで
【対策内容】
①三沢川左岸のアクリル板の目地の応急措置を行った。
②アクリル板の目地補修作業を実施中

アクリル板の補修

エ 水位計、カメラの設置

・対策実施者：神奈川県、川崎市
・進捗状況　：（対策済）　①神奈川県設置分　令和元年度
　　（施工中）　②川崎市設置分　令和２年８月末まで
【対策内容】
①危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラを大丸水門付近に設置した。（神奈川県）
②水位計とカメラを設置する。（川崎市）
　水位計の情報、カメラの画像は一般に公開する。（令和２年９月予定）



水位計・カメラ設置位置

カメラ画像のイメージ

オ 被害最小化の取組

・対策実施者：川崎市
・進捗状況　：（対策済）①移動式ポンプ配備　令和２年７月
　　②土のうステーション設置　令和２年７月
【対策内容】
①移動式ポンプを４機配備した。
②土のうステーションを菅第４公園に設置した。

土のうステーション（菅第４公園）

移動式ポンプ

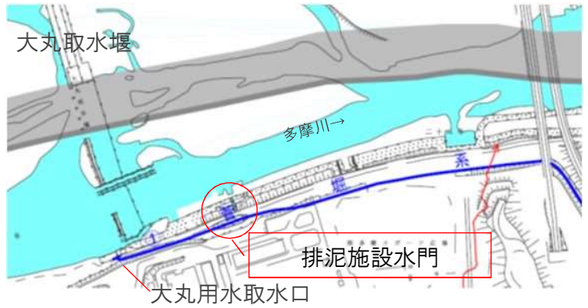
４．浸水対策の進捗状況について（三沢川・JR南武線三沢川橋梁周辺）

(2) 中長期対策方針

ア．当該地域の課題と中長期対策の考え方

当該地域は、三沢川と水路（大丸用水等）の流末地点に位置している。また、三沢川と多摩川の合流点部分でもあり、多摩川の水位上昇の影響を受け浸水被害を発生させたと考えられる。さらに、大丸用水は、稲城市の大丸取水堰から取水をしている。台風当日は、取水水門は閉鎖されていた。しかしながら、下流側の排泥施設水門は、扉体高さが低く多摩川の水が流入していたものの、稲城市内の用水路では異常な水位の上昇は見られなかったものと伺っているが、浸水地域に影響していたことも考えられる。

中長期対策の基本的な方向性としては、浸水地域の雨水処理負担を軽減させることを第一とする。



大丸用水排泥施設水門の状況

ウ．現在の進捗状況

稲城市と、今年度から「情報連絡会」を立上げ、大丸用水の取水口等の修繕や、川崎市域への減水を目的とした大丸用水の分水などについて協議を行っている。

令和２年６月には稲城市と大丸用水土地改良区あてに下流域への負担軽減を求める要望書を提出し、令和２年７月には緊急時に関する連絡体制を稲城市と構築した。

イ．中長期対策の方向性

当該地区の浸水被害を低減するため、以下の２つの対策を検討していく。検討にあたっては、稲城市と連携して調査や対策の実施方法について調整をしていく。

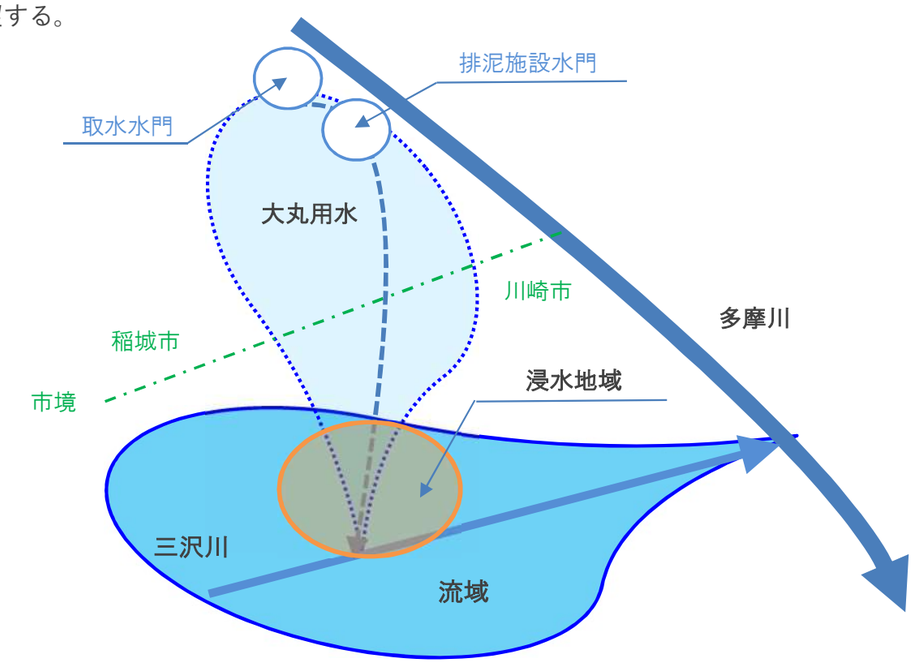
（ア）. 水路網調査

当該地域に集中する雨水の流入経路を水路網の調査をすることにより明らかにする。調査にあたっては、隣接する稲城市と協力して取り組む。

（イ）. 内水対策検討

水路網調査結果を踏まえて、以下の内容について検討を実施する。

- **流入量の削減**
  →水路網の見直しにより必要に応じて水路等の流量の削減を図る。
- **流下能力、排水能力の向上**
  →下水道の改修と連携して、雨水処理能力の向上を検討する。
  →内水処理を迅速に行うため、常設のポンプ施設や排水ポンプ車の導入等を検討する。
- **稲城市等に対する要望**
  →稲城市に対し、下水道（雨水管）の早期整備と下流域への負担低減を要望する。
  →大丸用水排泥施設水門の施設管理者に対し、多摩川からの流入を防止するための改良を要望する。



浸水地域の雨水処理イメージ

4．浸水対策の進捗状況について（三沢川・JR南武線三沢川橋梁周辺）

(3) ソフト対策

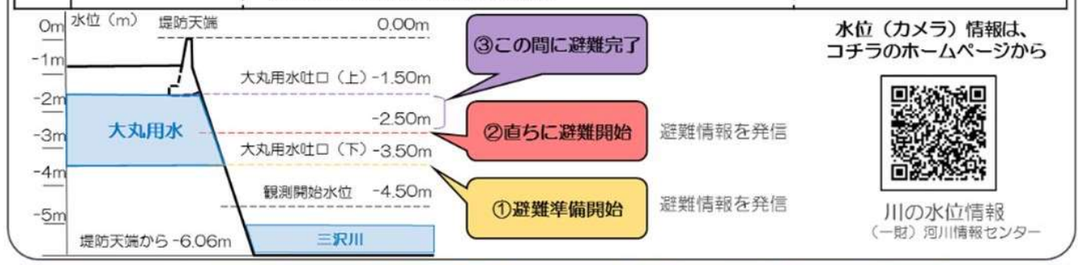
三沢川下流部周辺地域の緊急避難タイムライン（洪水）【案】

■避難の目安（令和元年東日本台風の水位情報を基に作成しています。）

※多摩川の避難勧告等が出た場合は、下の水位に達していなくても避難行動を開始してください。

※「判断の目安の水位」の設定方法については、裏面の解説「3．発信する情報」をご確認ください。

判断の目安の水位（南武線下流簡易水位計）		住民がとるべき行動	情報入手方法
③	水位 -2.50m ～ -1.50m	この水位の間に避難完了 ・避難中の住民は、確実な避難を直ちに完了 ・避難行動に余裕がない場合は、屋内の安全な場所等に退避するなど、生命を守る最低限の行動完了	HPの水位計及び カメラで状況確認
②	水位 -2.50m	直ちに避難開始 ・緊急避難場所等の安全な場所への立ち退き避難開始 ・屋内の安全な場所への避難開始	HPの水位計及び カメラで状況確認 メールニュースかわさき受信 パトロール車等による広報
①	水位 -3.50m	避難準備開始・高齢者等の避難開始 ・高齢者等の避難行動に時間がかかる方は、避難行動を開始 ・高齢者等の方が避難の際は、近隣の方々と声をかけあい、協力しながら避難 ・それ以外の住民は、避難準備を開始	



※災害種別に応じて開設する避難所が決定しますので、避難所に向かう際は、市から発出する避難所情報を確認して下さい。

台風や大雨に備えて

台風や大雨などの風水害は、天気予報などで事前に情報を得て、早めの行動ができる災害です。
大切な命を守るために、できるところから始めてみませんか。

1　災害リスクを確認する

ハザードマップは、洪水による浸水や崖崩れなどの災害が起きる可能性がある場所を示した地図です。
自宅で安全が確保できるときは、自宅に留まることも避難の方法です。
まずは、ハザードマップで自宅のリスクを確認しておきましょう。

2　避難先や、避難行動を事前に考えておく

台風予報などの情報を知ってから、災害が来るまでの時間をうまく活用することが大切です。
いつ、どこに、どうやって避難するかを事前に考えて、いざという時に備えましょう。
詳細については、「備える。かわさき」をご覧ください。

・屋内待機（自宅待機）　・立ち退き避難　・垂直避難

※ハザードマップや「備える。かわさき」・「号外！備える。かわさき」は、市危機管理室や各区危機管理担当の窓口で配布しています。

3　情報の入手先の確認

情報の入手先について、日頃から確認をすることが大切です。

・川崎市ホームページ／川崎市防災気象情報
　河川の水位情報のほか、気象レーダーやピンポイント天気予報、降水短時間予測などの情報をホームページで公開しています。

川崎市防災気象情報

・メールニュースかわさき
　登録したメールアドレスに川崎市の防災、気象、災害の情報を配信します。
　配信を希望する方は、下記アドレスまで空メールを送信してください。
（パソコン・スマートフォンから　mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp　）

メールニュースかわさき

・防災テレフォンサービス
　防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くことができます。
◇県内の一般加入電話、公衆電話及び一部ＩＰ電話　０１２０－９１０－１７４（通話料なし）
◇携帯電話、ＰＨＳ、県外の一般加入電話・公衆電話　０４４－２４５－８８７０（通話料あり）

災害時の連絡先

避難所に関すること・・・・・・・・	多摩区役所危機管理担当	TEL ０４４－９３５－３１４６
道路、水路、河川に関すること・・・	多摩区役所道路公園センター	TEL ０４４－９４６－００４４
救助が必要なときは・・・・・・・・	消防署	TEL １１９

4．浸水対策の進捗状況について（三沢川・JR南武線三沢川橋梁周辺）

(3) ソフト対策

三沢川下流部周辺地域の緊急避難タイムライン（洪水）解説【案】

1．三沢川下流部周辺への避難情報の発信

三沢川の下流部周辺地域の皆様に対し、三沢川の水位に着目した避難に関する情報発信を本市が行います。避難に関する情報を受けたら、適切な避難行動を取れるようにしましょう。

※既に多摩川の水位で避難勧告等が発令されている場合は、三沢川下流部周辺への避難に関する情報を待たず、適切な避難行動を取るようにしましょう。

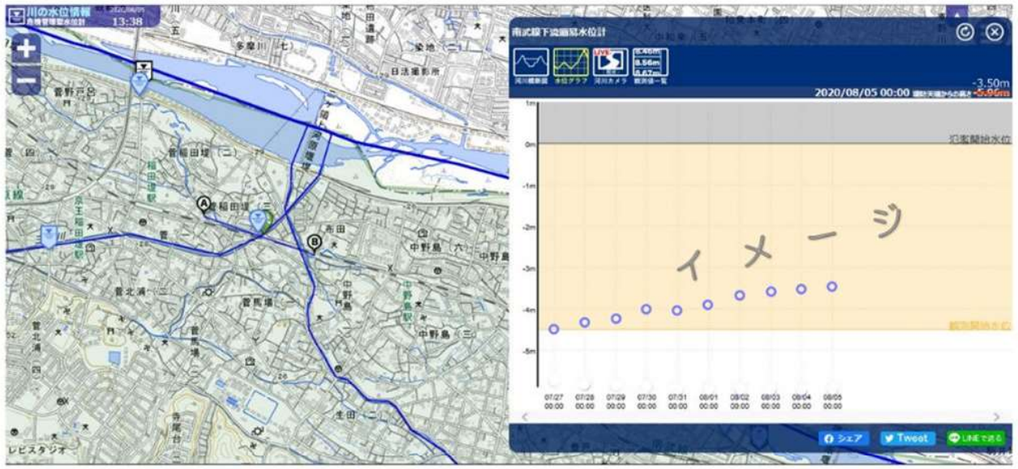
※大丸用水樋門の整備が完了するまでの暫定措置となります。整備後、再度内容を見直します。

2．三沢川下流部周辺の水位計・カメラ

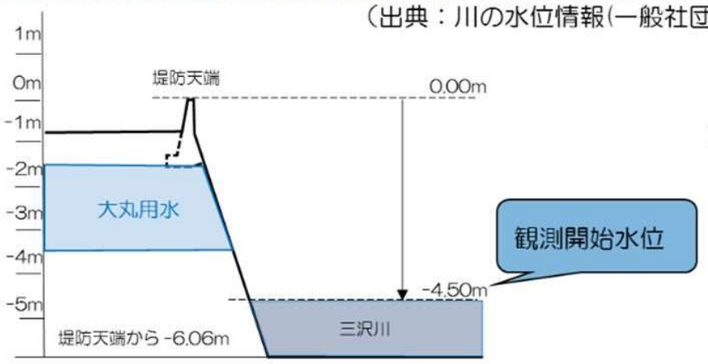
三沢川下流部では、JR南武線の近傍（大丸用水樋門付近）に危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラが設置されています。

台風等の大雨で三沢川の水位が上昇すると、水路からの水が河川に入りづらくなる可能性があるため、水路や河川の状況に注意しましょう。

※危機管理型水位計は洪水時に特化した水位計で、一定の水位に達したら観測を開始します。通常時は観測していません。



（出典：川の水位情報(一般社団法人河川情報センター)）



水位（カメラ）情報は、
コチラのホームページから

川の水位情報
（一財）河川情報センター

3．発信する情報

三沢川の水位に応じて、本市の判断のもと様々な手段で避難に関する情報を発信します。

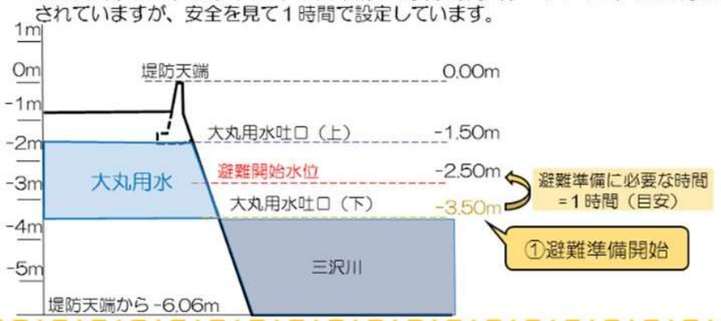
※必要な時間（目安）は、令和元年東日本台風時における１時間あたりの最大水位上昇量による想定であり、発生する事象によって異なります。

①避難準備開始/高齢者等の避難開始 水位

三沢川の水位が用水路の下端（天端から−3.50m）に達したら、避難準備を開始していたくための情報を発信します。

令和元年東日本台風時の三沢川の最大水位上昇量（0.92m/ｈ）を参考とし、避難準備などに必要な時間（１時間）を見込んで設定しています。

※三沢川などの中小河川では、避難準備に必要な時間（リードタイム）は30分とされていますが、安全を見て１時間で設定しています。



情報の入手方法
- メールニュースかわさき
- パトロール車等による現場での広報
- ホームページの水位情報

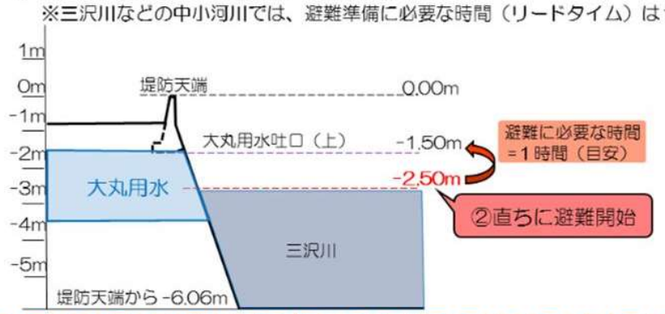
住民が取るべき行動
- 避難に時間がかかる人は避難開始
- その他の人は、避難準備（家財・車などの避難）

②避難開始 水位

三沢川の水位が天端から−2.50mに達したら、避難を開始していただくための情報を発信します。

令和元年東日本台風時の三沢川の最大水位上昇量（0.92m/ｈ）を参考とし、避難に必要な時間**（１時間）**を見込んで設定しています。

※三沢川などの中小河川では、避難準備に必要な時間（リードタイム）は１時間とされています。



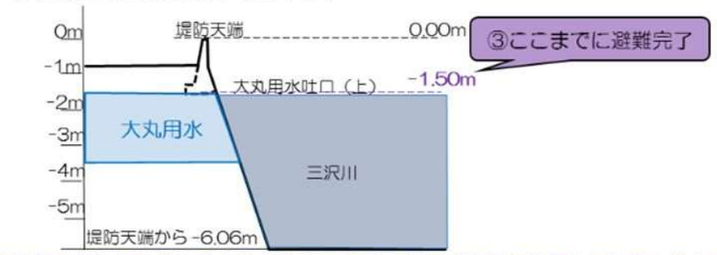
情報の入手方法
- メールニュースかわさき
- パトロール車等による現場での広報
- ホームページの水位情報

住民が取るべき行動
- 避難開始

③避難完了 水位

三沢川の水位が水路吐口の上に達すると、浸水被害が発生する可能性が非常に高くなります。

この水位までには避難を完了し、万が一まだ避難されていない方は建物の上階等に退避し、生命を守る行動を取る必要があります。



情報の入手方法
- ホームページの水位情報

住民が取るべき行動
- 避難完了

5．対策とスケジュール

・検証により明らかになった課題に対して、以下のスケジュールで対策を実施している。

	対策	対策時期	対策内容	対策実施者	令和元年度	令和2年度 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	令和3年度
河港水門	ア. 扉体(ゲート)の高さ確保	短期	既設扉体嵩上げ対策	川崎市						完了								
		短期	止水壁設置	川崎市														
	イ. 京急交差部の閉塞	短期	大型土のう配備	川崎市														
	ウ. 被害最小化	短期	移動式ポンプ配備	川崎市					完了									
		短期	土のうステーション設置	川崎市					完了									
		短期	集水桝増設	川崎市					完了									
	エ. 水位計、カメラの設置	短期	水位計及びカメラ設置	川崎市														
	オ. 周辺工場の多摩川取水口の対策	短期	取水施設取水口及び配管の二重閉塞	味の素株式会社				完了										
	カ. 中長期対策	中長期	河港水門の在り方、堤防の整備に関する検討	川崎市							関係局区等と協議・調整							

	対策	対策時期	対策内容	対策実施者	令和元年度	令和2年度 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	令和3年度
平瀬川	ア. フラップゲートの設置	短期	フラップゲート設置（市管理分）	川崎市	完了													
	イ. 大型土のう等の設置	短期	大型土のう設置	国						完了								
		中期	中期対策検討	国														
	ウ. パラペット護岸の改良	短期	仮設板設置	川崎市						完了								
		短期	アクリル板設置	川崎市														
	エ. 水位計、カメラの設置	短期	既存水位計の更新	川崎市	完了													
		短期	水位計及びカメラの設置	川崎市														
		中期	カメラの夜間対応など更新	神奈川県														
	オ. 被害最小化	短期	移動式ポンプ配備	川崎市	完了													
		短期	移動式ポンプ増設	川崎市	完了													
		短期	土のうステーション設置	川崎市				完了										
	カ. 中長期対策	中長期	平瀬川（多摩川合流部周辺）の対策検討・調整	川崎市														

	対策	対策時期	対策内容	対策実施者	令和元年度	令和2年度 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	令和3年度
三沢川	ア. 水路（水門）の補修や管理等	短期	仮設止水板の配備	川崎市					完了									
		短期	ポンプ施設設置	川崎市					完了									
		短期	浚渫	川崎市					完了									
		短期	流下能力向上	川崎市						完了								
		中期	大丸水門の改修	神奈川県														
	イ. フラップゲートの設置	短期	フラップゲートの設置	川崎市 神奈川県	完了													
	ウ. 三沢川の護岸補修	短期	アクリル板の目地応急措置	神奈川県	完了													
		中期	アクリル板の目地補修	神奈川県														
	エ. 水位計、カメラの設置	短期	水位計・カメラ設置	神奈川県	完了													
		短期	水位計・カメラ設置	川崎市														
	オ. 被害最小化	短期	移動式ポンプ配備	川崎市					完了									
		短期	土のうステーション設置	川崎市					完了									
	カ. 中長期対策	中長期	水路網調査・内水対策検討	川崎市														

共通	カ. ソフト対策	短期	タイムライン（防災行動計画）の確立と防災意識向上の取組	川崎市		関係局区等と協議・調整												
		中長期	地域防災力向上検討	川崎市														

６．住民説明会（予定）

日 時（受付開始）	定員	会 場	対象地域
令和２年 ８月 25 日（火） 午後７時開始 （午後６時 30 分）	60 名 程度	川崎市総合教育センター （高津区溝口６丁目９番３号）	平瀬川と多摩川の合流部周辺 （高津区久地２丁目、溝口６丁目）
令和２年 ８月 26 日（水） 午後７時開始 （午後６時 30 分）	60 名 程度		
令和２年 ９月１日（火） 午後７時開始 （午後６時 30 分）	100 名 程度	旭町小学校体育館 （川崎区旭町２丁目２番１号）	河港水門周辺（川崎区港町）
令和２年 ９月２日（水） 午後７時開始 （午後６時 30 分）	100 名 程度	下布田小学校体育館 （多摩区布田 23 番 1）	三沢川の JR 南武線三沢川橋りょう周辺 （多摩区菅１丁目、菅稲田堤２丁目、 菅稲田堤３丁目、布田）